

第4回

宮城県における復興祈念公園基本構想

検討調査有識者委員会 資料

【第3回委員会の主なご意見】

平成26年3月7日



国土交通省 東北地方整備局 建政部

石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)基本構想(案) に関するご意見

- 【涌井委員長】 南浜地区や石巻市にとどまらない東日本大震災の記録を保存・伝承について、構想に位置付けが必要ではないか。
- 【涌井委員長】 日和山は人々と海との対話を物語る象徴といえる。構想の中に公園と日和山との関係をしっかりと位置付けた方が良いのではないか。
- 【松村委員】 パークマネジメントの視点とそのための拠点、多様な主体による多様な活動の拠点について、構想に位置付けが必要ではないか。
- 【牛尾委員】 海外から「樹木を寄贈したい」という声もあるということなので、そのような樹木の植栽も可能とする余地を残した方がよいのではないか。追悼と鎮魂の丘を検討する際は、下から津波の高さを見上げた方がより恐ろしさを実感できるという視点も加えた方がよいのではないか。
- 【亀山委員】 ご遺族の方々が祈りをささげる場であるとともに、この震災を伝え、あるいは子供たちに学んでもらう機能も必要であるという方向性を示していくと良いのではないか。
- 【舟引委員】 基本構想案には宮城県の被災状況に関する記述や、なぜ宮城県全体を代表する公園なのか、国が関与すべき公園なのかという観点が不足しているのではないか。
- 【舟引委員】 追悼と鎮魂の丘で意識する方向として、「海」だけでなく、他の要素(太陽等)を踏まえた方向も考慮することを加えた方がよいのではないか。

復興祈念公園の空間構成に関するご意見

- 【涌井委員長】 記憶、教訓の伝承という観点から土地の成り立ちをビジュアルにしっかり残すことが重要。トレンチのような形でかつての地形を展示するような方法が有っても良い。
- 【森山副委員長】 その場に**あったものを残す**、**土地の歴史を伝える**ということが土地を活かす考えにつながる。微高地に丘を作るのではなく、微高地は丘として残してその脇に作るのが良いのではないか。追悼と鎮魂の丘については丘ではなく台地とすることも検討すべきではないか。
- 【森山副委員長】 登ってみたい丘とするには**アプローチの流れ、動線が重要な要素**となる。上上がった時に落ち着きを感じられる空間、自然と人との関係を感じられる空間とすることが重要と考える。
- 【古藤野委員】 人工的な空間、芝生などは維持管理費もかさむ。**森づくり**を通じて豊かな自然の中で**気持ち良いと思える空間**にすることが良いのではないか。
- 【松村委員】 公園からの**日和山の見え方**、日和山から**公園の見え方**について配慮が必要ではないか。
- 【千葉次長】 どのように公園まで来るのか、**公園へのアクセス**についても検討した方が良いのではないか。